



四谷地域センター運営委員会コミュニティー誌 令和7年4月発行 No.127

【四谷地域センターのホームページ URL は <http://ycc.tokyo/>】



～信濃町友情公園～



～信濃町希望公園～

JR信濃町駅前から外苑東通りを北へ、二つ目の信号の横丁を右に曲がったすぐ先に、信濃町希望公園があります。とても小さな公園ですが季節の花々に彩られ付近には桜の老木もあり歩行者の憩いの場となっています。その先には同じようなタイプの信濃町友情公園もあります。ともに2010年開園の新しい公園です。

万引きは犯罪です！
万引きはドロボウ！
良いことと悪いことを
しっかり区別しよう！

四谷警察署から

シリーズ「四谷の公園」

信濃町希望公園
信濃町友情公園

文化の街 あれこれ

旧四谷第四小学校跡地活用の
なりたちと現在

「四谷ひろばって？」

旧四谷第四小学校は、四谷第一小学校・四谷第三小学校と統合し、「四谷小学校」に、旧四谷第四幼稚園・四谷第三幼稚園・三栄町保育園が「四谷子ども園」になりました。 場所：四谷 2-6（旧四谷第一小）
(2007年3月閉校 / 同年10月15日協議会発足 / 2008年4月1日開館)



ひろびよん
©四谷ひろばキャラクター

■地域で考え、地域でつくる 地域協働モデル事業です

新宿区から「区立四谷第四小学校跡地を利用した地域で自主運営を行うひろば事業」の提案を受け、区及び近隣地域の皆様方のご支援ご理解をいただきながら、2年間かけて検討会・準備委員会と検討を重ね、2007年10月15日に四谷ひろば運営協議会設立総会を開催。2008年4月より運営を開始。開館から5年を経た際に、新宿区の外部評価で高い評価をいただき、2013年4月から5年間の契約更新を行い、その後、5年ごとに契約更新。2023年4月、再々更新の契約を交わすことができ、現在、2028年3月31日まで、「無償賃貸契約の延長」がされています。地域に支えられ、利用者に支えられ、四谷特別出張所の皆様に支えられ、「おかげ様での17年」です。

■子どもから大人までみんなが集えるひろばを目指します

- ・世代を超えた交流の場
- ・地域住民による地域貢献活動の場
- ・地域の文化の発信拠点

【NPO団体の地域推薦について】

地域で使用できない範囲は、新宿区がNPOを入居させるということでしたので、検討会の段階で、私たちの活動を支援してくださる『家賃を新宿区に払って協働してくださる2団体』を縁あつて地域推薦させていただきました。元・四谷第四小学校の図工教諭の鈴石先生がNPOを立上げ、元校長先生の異動先の保護者に「おもちゃ美術館」の館長が…。この団体の活動が、ひろばの活動方針と一致したこと、三団体協働を前提に、新宿区へ「団体推薦」と「事業内容の提案」を行った。

四谷ひろばの運営 運営委員＆ボランティア募集中！

B館 四谷ひろば（地域ひろば）

地域住民中心のボランティアなどにより自主管理自主運営される「地域ひろば」

- | | |
|----|---|
| 役員 | ・会長：1名 四谷四丁目町会長 |
| | ・副会長：7名 愛住町・舟町・片町・荒木町・前・番衆町 各町会長 NPO館長各1名 |
| | ・会計：2名 四谷三丁目・元・左門町 各町会長 |
| | ・事務局長：1名 各運営部：各部長1名（7部） |

総合受付
災害時対応
窓口業務
閉館対応

三団体で、
協働しています！

朝の見回り
休館日の対応

委託

A館 NPO
東京おもちゃ美術館
運営：認定NPO法人芸術と遊び創造協会

毎月第2水曜日に役員会を開催
三団体十四谷特別出張所と連携

四谷特別出張所
新宿区

A館 NPO
CCA
Committee of Citizen for Artistic Activities
CCAアートフラザ

- ・大規模施設としての ①「防火管理者」の配置と大規模用消防計画の策定
責任の取組み ②ゴミの再利用計画と年間の排出量と最終処分場の報告 等

◆各運営部

運営委員 55名（役員含む）
ボランティアスタッフ 10名
中高大学生 10名

3つのサロン

- ・大人サロン…フラダンス / コーラス
健康体操 / ビーズ教室 / 七宝焼き
手芸 / 懇親会 等
- ・親子サロン…園庭開放 等
・多世代交流サロン（休会中）

施設開放部

- ・会議室 / 多目的ルーム / 講堂等の貸出

主催事業部

- ・パソコン教室 / 卓球教室 / リフレ
ッシュ体操・中高大学生支援等

施設管理部…施設内の管理等

外部検討委員会…農園事業

- ・グラウンド等の枯れ葉掃除・草むしりなどを担当

事務局 資料作成 / 決算・法人税・源泉

- 区への報告書 / 各種立会い 等

避難所機能

『四谷ひろば三団体自衛消防隊』と地域との連携

毎年、6月第四金曜日、12月第一月曜日に避難訓練を実施。おもちゃ美術館の職員が中心となり、災害発生時に、館内のご利用者の避難誘導・消火活動・けが人対応などの訓練を実施。団体ごとに、甲種防火管理者・防災管理者の資格を得ての消防計画も提出。常設で、ソーラーの電灯等を常設で設置したり、開館時には、避難所立上げまでの一時避難者の受入れを想定。



常日頃からの準備を心がけて！

『四谷ひろば避難所運営管理協議会』は、

《四谷三丁目・四谷四丁目・荒木町・舟町・愛住町・片町》の6町会で運営がなされています。

詳しくは、

四谷ひろば



新宿区四谷四丁目 20 ☎03-3358-9140 木曜休館 受付窓口 9時～17時

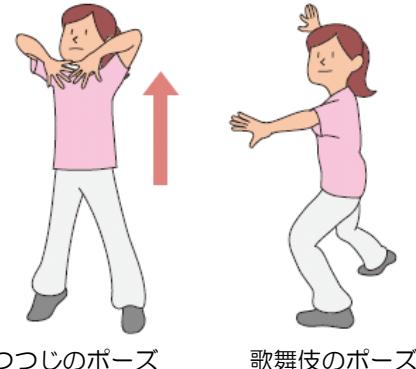
文責：四谷ひろば運営協議会 事務局長 田谷 節子

人生 100 年時代！！

「新宿いきいき体操」で楽しく介護予防に取り組みましょう♪

年を取つたら足腰が弱るのは仕方がない…いいえ、違います！いくつになっても筋力は鍛えれば強くなります。楽しい体操で無理なく体を動かして介護予防に繋げましょう。

「新宿いきいき体操」は、区民がいつまでも住み慣れた地域でいきいきと暮らすために、平成 20 年度に誕生した区オリジナルの介護予防体操です。「平成新宿音頭」の曲に合わせ、新宿にゆかりのある地名からとった「歌舞伎のポーズ」、区の花つづじをモチーフにした「つづじのポーズ」などの型が体操の動きに盛り込まれています。座って行う座位編と立って行う立位編があり、世代にかかわらず、どなたでも体力に合わせて、楽しく筋力アップ、バランス力アップを図ることができます。令和 5 年度に、歌手の天童よしみさんの歌唱による歌のリニューアルをし、さらに魅力が増した「新宿いきいき体操」をぜひ一緒にやってみませんか。



「新宿いきいき体操」は、地域の「新宿いきいき体操センター」のご協力をいただきながら「新宿いきいき体操ができる会」として区内の高齢者施設（区立地域交流館やシニア活動館など）を中心に開催しています。四谷地域では、以下の 3 館です。

① 信濃町シニア活動館（信濃町 20 電話 5369-6737）

「健康体操」毎週金曜日 10:30～11:15（予約制・50 歳以上・定員 28 人）

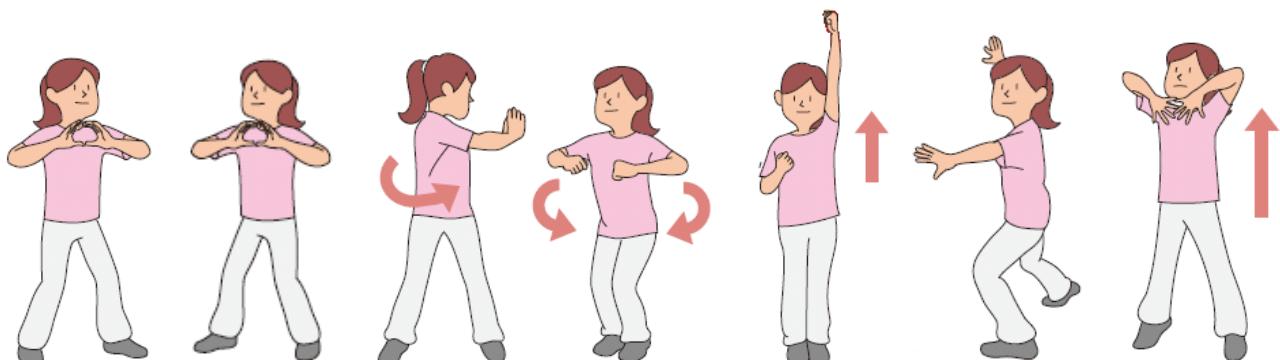
② 本塩町地域交流館（四谷本塩町 4-9 電話 3350-1456）＊月 1 回程度

「本塩町新宿いきいき体操」第 1 又は第 2 金曜日 14:00～15:00（予約制・60 歳以上・定員 15 人）

③ 新宿地域交流館（新宿 5-3-13 電話 3341-8955）

「新宿いきいき体操」毎週月曜日（第 5 週を除く）15:15～16:00（先着順・60 歳以上・定員 15 人）

※ご不明な点等ございましたら、各館に直接お問合せください。



新宿の輪 指を合わせてしっかりと！

エイエイオー

歌舞伎

◎「新宿いきいき体操」の動画は右の QR コードから視聴できます。→

♡ 思ったより難しいですが、楽しくやるのがポイントです
ぜひ一度、ご覧になってください ♡



問合せ：新宿区役所福祉部地域包括ケア推進課介護予防係
電話 5273-4568（直）/FAX 6205-5083

「四谷での1年間を振り返って」

文京学院大学都市社会研究ゼミ

私たちが四谷で活動を始めてから1年が経ちました。同時に、地域コミュニティ誌「四谷」の編集に関わらせていただくのも今回で3回目となります。これまで四谷の皆様のご協力をいただきながら、様々な活動を行ってきました。改めて、その活動を振り返ってみたいと思います。

まず、10月には四谷文化祭にボランティアとして参加しました。四谷区民ホールで行われたステージ発表では、年齢を問わず多くの方がパフォーマンスを披露され、四谷のパワーを肌で感じることができました。

11月には四谷三栄公園で「防災縁日」を開催しました。町会とのつながりが希薄になっている昨今、地域の若い世代が町会をより身近に感じ、関わりを持てる場を作りたいという思いから企画しました。当日は、若い方たちも多くご来場いただき、地域とのつながりを深める貴重な機会となりました。

また、7月号、12月号、そして今回の4月号の3回にわたり、地域コミュニティ誌「四谷」に執筆をさせていただきました。これまで本誌は四谷の地域を中心に制作されてきましたが、私たちのように普段四谷で暮らしていない「よそ者」が関わることで、これまでとは異なるコンテンツを皆様に届けられるのではないかと考え、執筆に取り組んできました。

この1年間、様々な活動を通して、全てに共通していると思ったことは「四谷の地域力」です。地域センターでは、毎年多くのイベントが住民の皆様の協力のもと開催されています。また、防災縁日では四谷三栄町会の役員の皆様が積極的にご協力ください、成功に向けて尽力していただきました。こうして住民同士が協力し、大きなエネルギーを生み出していることは、四谷の誇るべき特徴のひとつだと思います。

近年の課題として、町会や諸団体など地域を担う機関の後継者不足や高齢化が挙げられます。四谷においてもこの問題と無縁ではないと思います。しかし、その解決策として「四谷の地域力」は大きな役割を果たしていると感じています。つながりを育み、次の世代へ四谷らしさや伝統を継承することで、この先の時代に重要な価値を残すだろうと私たちは確信します。

最後に「四谷ってどんな町なのだろう?」という興味と疑問からスタートした研究ですが、大学卒業に伴い、4月号への執筆をもちまして四谷での活動は終わりとさせていただきます。この経験をもとに春から新社会人としてそれぞれの道を歩んでいきますので、これからも応援していただければ幸いです。1年間ありがとうございました。



編集委員会から

思いもよらない御縁をいただき、他地区の若い学生さん達と交流を持ったことで色々な発見があった一年でした。様々な場面で心地良い風を感じ、私共も勉強させていただきました。感謝です。これから社会人になる皆さん的人生の中で、四谷での活動を通して何かお役に立つ事があったのであればとても嬉しく思います。短い期間でしたが地域誌「四谷」を含む四谷での活動お疲れ様でした。いつの日か四谷で再会出来る事を楽しみにしています。

お元気でいてください。

最後に✿ご卒業おめでとうございます✿

四谷地域センター運営委員会 主催 ～春のイベント 写真でご紹介～

【四谷音楽祭】



【四谷ふれあい祭り
-Youth-】





「オリジナル“七味とうがらし”
をつくろう！」



去る2月1日(土)の午後、四谷地域センターの
貸室を使用し、七味とうがらしイベントを開催しました。
今回は料理を作る講習会とはひと味違い、四谷図書館
とコラボ！！とうがらしワークショップの催しは初めて
の試みです。

とうがらしの口上を聞いて内藤とうがらしについて知り、基本のバランスを意識しながら皆さん自分で調合してオリジナルとうがらしを作りました。3時間で、のべ84名の参加があり、意外にも小さなお子様連れのご家族も多く「お父さんに調合したとうがらしをあげる♪」と嬉しそうに言っていたお子さまもいました。最後に、とうがらしと塩をブレンドしたものをかけた「とうがらしあにぎり」の試食もあり、知らない人同士で「私、かけすぎちゃった 辛いっ！」など、とうがらしをきっかけにお話しするコミュニケーションの場ともなり、参加者の方からは「このような機会はなかなか無いのですごく楽しかった」「色々知る事が出来た、またやってほしい」などの声をいただきました。

四谷地区28町会 町会長一覧

令和6年7月12日
四谷一丁目 藤井総一
四谷二丁目 伊藤莊太郎
四谷三丁目 渡邊吉代司
四谷四丁目 伊藤源久
四谷坂町 石井裕
四谷三栄町 小澤宏宗
本塩町 齊藤源久
四谷若葉町 福光市明
四谷新宿町 小澤利彦
片内町 尾山勲
大愛町 原茂
舟荒町 渡邊和幸
南信町 田中孝幸
須若町 原茂
左須町 渡邊和幸
四谷若葉町 熊谷滋
四谷新宿町 松本洋
四谷新宿町 木村信美
片内町 富田英夫
大愛町 征夫
舟荒町 成幸
南信町 一丈
須若町 誠雄
左須町 文一
四谷新宿町 信美
四谷新宿町 勝
四谷新宿町 章
四谷新宿町 由
四谷新宿町 友治
四谷新宿町 壽一
四谷新宿町 忠郎
四谷新宿町 健二郎
三番新花園町 田島吉川
光衆宿園町 真久

お詫びと訂正
前号 126号に「
ところ四谷を省
二丁三丁へら定

前号 126 号に「四谷三栄町」と記載すべきところ四谷を省略してしまいました。」)に訂正してお詫び申し上げます

春、桜の頃は出会いと別れの季節です。それぞれ様々な想いを胸にまた新しい一年がスタートしていきます。



編集後記

はじめに 岩手県大船渡 森林火災で
被災された方、亡くなられた方には、心
よりお悔やみを申し上げ 御冥福をお
祈り申し上げます。

さて、今年は昭和百年。昭和という元号は大化の革新から数えて246番目の元号だそうです。そして、戦後80年、『過去は未来の為にある』と言いますが、その間で今を生きている私達は戦争を知らない世代が多くなってきています。デジタル化がどんどん加速されていく昨今、ここで少し歩みをとめてもう一度ゆっくり何かを考えてみなければいけないような気がします。

日時
令和7年5月27日（火）
開催致し

四谷地域センター運営委員会 令和7年度第31回定期総会を